日常のきこえの活用度マップ

MASH: Map of Subjective Hearing Performance in Everyday Situations

<u>名前</u> 年 月 日

旗の中に

- 3=大体聞きとれる
- 2=ときどき聞きとれない
- 1=あまり聞きとれない
- 0=ほとんど聞きとれない
- ?=あまり経験がない
 - のどれかを書いてください。

騒がしい所

での会話

> 少人数の教室、 会合など

家族、3~4 人での会話 店員と の会話

初対面の 聞こえる人 との会話 公共の場

駅・電車内のアナウンス、銀行・病院の受付の呼び出しなど

ステップ3

なれた人との 1対1の会話

歌、音楽

ステップ1

ステップ2

まとめましょう

自分の聞こえ具合について、聞こえや すいところ/聞こえにくいところにつ いて、まとめてみましょう。

よく聞きとるためにどんな工夫をしていますか? まとめてみましょう。

うまく聞きとれなかったとき、どうしていますか? 人にどのように伝えていますか? まとめてみましょう。

• 自分自身でどんな工夫ができたらよいと思いますか? 周りにどんな工夫があったらよいと思いますか? まとめてみましょう。

ご本人、ご家族の方、先生方へのワンポイントアドバイス

- 「あきらめてしまっている」状況はありませんか。相談できる人、専門家はいますか。
- 「耳による方法」「音環境の工夫」「相手や周りの人にお願いすること」「耳以外の方法」の視点をバランスよく考えましょう。
- 機器の工夫や最新のテクノロジーの使用によって、聞こえ具合が大きく改善する場合があります。常に新しい正しい情報を知って、上手に選択することはとても大切です。



作成:富澤晃文(目白大学)2012